

フィリピン保健医療支援事業 田中 温子 (2014/3~2014/10)

この事業では、2005年からフィリピン・キリノ州において、地域保健ボランティアの育成や、保健医療施設の建設、給水システムやトイレの整備を行い、公衆衛生環境の改善を支援してきました。

地域住民自身による健康管理能力とフィリピン赤十字支部の組織基盤を強化することで、日本赤十字社の支援が終わった後も、住民自身の手で健康を守る活動を継続できることを目標に掲げ、行ってきた活動です。

私の任期中には、小学校のトイレ改修や、保健ボランティアの活動状況のモニタリングを行い、インフラの整備と知識の普及の両方が、健康的な生活を送るためには必要なことを肌で感じることができました。

また住民調査（事業開始時にも同じ調査を行っている）を行い、事業に一定の成果があったことを確認できました。この結果、キリノでの事業は2014年9月に終了し、現在は隣のヌエヴァヴィスカヤ州で同様の活動を継続中です。



